

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人あうん

1. 事業の総括

事業開始から11年が経過しました。これまでの10年を振り返り、さらなる法人の活性化を図るために新規理事を2名加えて、新たな体制作りを始めました。過去の実績に奢ることなく、活動方針により磨きをかけながら、次なるミッションを模索しながら成長と発展を目指して取り組んできました。

事業運営は、前年度同様に『新型コロナウイルスを正しく知って、正しく怖がる』『就労支援の歩みは止めない』という精神で、基本的な感染予防対策を継続し、誰もが安全性と快適性を享受できるよう創意・工夫、努力を行いながら、新型コロナウイルスからの脱却に向けて準備を進めてきました。まず法人の方向性として、将来的な事業所拡大等を前向きに検討するうえで、サービス管理責任者の在り方を実務的に捉え、これまで1人の職員が兼務していた役割を見直し、直接処遇を行っていた職員の経験値を増やしながらか運営・経営を保持することにチャレンジしました。しかしながらその結果、一般就労への移行者は6名にとどまり、うち1名は初期段階で離職をしたことで、非常に芳しくない実績評価となりました。新型コロナウイルスによる影響が徐々に薄れてきた中で高い数値目標を掲げていましたが、過去最低の記録を出してしまったことは、支援の内容や質を含め、今後の運営に課題が残りました。一方で、余暇を中心とする社会参加では、グループ旅行や外出、企画した全てを実施することができ、参加者からは喜びの声が多く挙がりました。次年度は参加希望者がさらに増える見込みがあり、これは成果の一つとして挙げられます。

また、就労支援に関する人材育成事業のひとつとして、新たに社会福祉士養成における相談援助実習生を2つの大学、3名の学生を受け入れました。学生から見て感じた視点や意見、疑問点等の声を直接聞くことができ、利用者にとっても職員以外の方と触れ合うことで人的交流が広がり、関わる機会がもてたことは有効だったと評価します。今後も、各大学からの実習受け入れ依頼が表明されているので、積極的な受け入れを行っていく予定です。

近年は以前より利用者数が減少傾向にあり、定員の5～6割の利用率が年間を通して推移し、前年度と比較して年間の利用延べ人数は約800人減少、経営的な難しさを体感しました。年間の新規契約者数は大きく変動がないことから、例年、一定数いる4月から利用を開始する新規利用者が、前年度よりも少なかったこと、就労移行支援事業所数の増加や就労継続支援A型、訓練等を利用せずに企業就労する方等、障害者雇用における選択肢の幅が広がり、対象者の動向に変化が生じていることが影響していると考えます。一方で登録利用者の8割近くが、開所日数と同等日数を通所できており、勤怠の安定は就労定着支援をするうえでも重要なため利用者本人の強みとして活かしていきたいです。

令和5年度、我々は、もう一度原点に戻り『オーダーメイドの支援をめざす』『きめつけない』『あきらめない』の活動方針をもとに『あなたの希望を約束し、あなたの価値を認める』支援を行い、職員の資質の底上げ、スキルアップ、事業所としての実績を高いレベルで維持することに視点を置いています。

2. 事業内容

(1) 法人に係る事業

(ア) 理事会・社員総会

開催日		場所
5/15	第1回 理事会	法人事務所内
5/23	第1回 社員総会	法人事務所内
3/26	第2回 理事会	法人事務所内

(イ) 新型コロナウイルス感染予防対策

- ・今年度は、抗原検査キットを全職員に一定数配布し、体調不良や感染の疑いがある際には各自検査を実施し、感染拡大を防いだ。また感染の疑いが強い場合には、PCR検査キットを使用し、併せて検査を実施した。
- ・神奈川県より、新型コロナウイルス感染症によるクラスター対策強化のための措置として、集中的検査の実施依頼があった。(令和4年12月1日から令和5年3月31日までの3ヵ月間)
→神奈川県より配布された抗原検査キットを全職員に一定数配布し、週2回の検査を実施。全職員の検査日と検査結果を、毎週報告した。

JUNCTION厚木の事業運営上の対応

実施月	内容
通年	※前年度より継続 ・入室時、来客ならびに利用者への検温等基本的な体調確認の遂行。 ・アルコール消毒の設置、1日2回作業備品等の室内消毒の実施。 ・食堂、作業席の配置替え（対面での活動を極力なくした）を実施。 ・面談室に飛散防止フィルムを設置。 ・昼食時、食堂利用を2交代制にする。 ・来客名簿の連絡先記入項目を追加（万が一の時に備えた）。 ・神奈川県知事からのメッセージを、その都度読み上げて状況を解説し対応を指示した。 ・日中活動時間内に20分間の『リフレッシュ（日光浴）タイム』を導入。

(ウ) 福利厚生（処遇改善）事業

実施月	内容	対象者
10～12	インフルエンザ予防接種者に1人当たり2,000円を補助	接種者
6～9 11～2	夏季休暇5日間、冬季休暇5日間を有給として付与	職員全員
職員の誕生日	誕生日プレゼントを贈呈	職員全員
4～9 10～3	温浴施設利用券を平日10回配布	職員全員
12	永年勤続10年の職員に対し、記念品と商品券を贈呈	職員 4名

④慰労金等の申請、支給等

【法人 独自対策】

実施月	内容	支給金額
毎月	新型コロナウイルス感染症対策見舞金が1名あたり5,000円（所定勤務日数に満たない職員については日割り計算としている）が支給された。	497,053円

【神奈川県】

実施月	内容	支給金額
6～11	神奈川県国民健康保険団体連合会福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）に基づき、障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置	329,238円
2	神奈川県障害福祉サービス（物価高騰対策支援金） 障害福祉サービス提供体制を維持するため、原油価格・物価高騰に直面する障害福祉施設等に対する事業継続に向けた支援金	200,000円
2	厚木市福祉施設光熱費等高騰対策交付金 令和3年4月から令和4年3月までに要した経費を基準とし、交付金100,000円を上限として支給される	10,500円

(エ) 研修

実施日	内容	参加者
6/11	夢と感動を育む研修会 体験学習 フォレストアドベンチャー箱根	職員 8名
11/12	夢と感動を育む研修会 演劇鑑賞 劇団四季「ライオンキング」	職員 8名 理事 1名 他 2名

(オ) 障害者雇用に関する普及啓発事業

①ホームページ開設事業

事業内容	就労支援に関する情報提供を行い、事業所情報や活動内容、各種事業の案内を掲載。随時問い合わせを受け付け、対応できるようにする。 また経営情報を公表し、経営の透明性を確保する。
実施日時	通年

(カ) 職場定着支援事業 (通年)

事業内容	障害者が職場により安定的にできるよう、利用者の希望に応じて有料にて就労先で職場定着支援を行う
実施場所	対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
対象者	法人会員であり、職場での支援を求めている障害者

【支援実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問回数 (延べ)	29	38	34	36	36	40	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計件数
訪問回数 (延べ)	35	43	39	35	36	37	438件

契約対象者数：64名

(キ) 奨励制度

- 目的：1. 対象者の就労を継続する意欲や労働生産性を高めるため
2. 就労継続年数に対する評価を形にするため
3. 対象者や家族、職員が次の目標に向かって再チャレンジするため

事業内容	・対象者には法人より祝い金と表彰状を贈呈する ・贈呈は、対象日から数えて1ヶ月以内とする
実施日時	随時
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内、本人の就労先
対象者	職場定着支援（有料）を契約し、規程の勤続年数を経過した者

【表彰者】 38名

1年達成： 11名（男性8名、女性3名）

3年達成： 9名（男性6名、女性3名）

5年達成： 5名（男性2名、女性3名）

7年達成： 9名（男性4名、女性5名）

10年達成： 4名（男性4名）

(2) 障害福祉サービスに関する事業

事業内容	就労移行支援事業 一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための相談や訪問などの支援を行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の実習先（神奈川県を中心とした地域）
定員	20名

事業内容	就労定着支援事業 就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を一定の期間にわたり行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
定員（実績）	40名以下（29名）

【来所者数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (名)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
来 所 者 内 訳	当事者	18	27	22	17	28	15	10	22	14	30	15	31	249
	保護者	10	16	10	7	23	5	7	15	8	13	12	21	147
	教員	10	7	15	10	6	2	3	8	3	9	6	14	93
	福祉 関係者	6	7	13	3	5	6	4	4	3	4	15	7	77
	その他	1	2	0	11	1	3	5	1	3	2	2	8	39
合計（名）		45	59	60	48	63	31	29	50	31	58	50	81	605

※福祉関係者には、相談事業所、就労移行支援事業所、行政（福祉課）の関係者などを含む。
会社（特例子会社など）の関係者はその他に含む。

【当事者の利用相談件数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (件)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数		2	4	4	4	3	3	0	5	1	3	1	2	32

(ア) 就労移行支援**【概要】**

〈定員〉	20名						
〈利用契約人数〉	20名（中途利用、退所あり）						
〈利用者の性別〉	男性14名 女性6名						
〈利用者の平均年齢〉	25.6歳						
〈障害者手帳種別〉	療育手帳	(A2)	1名	(B1)	1名	(B2)	16名
※重複あり	精神障害者保健福祉手帳	(2級)	2名	(3級)	1名		
〈日中生産活動内容〉	下請け作業、自主制作						
〈職員数〉	常勤	9名（正規職員7名 非正規職員2名）					

【開所日数（職場定着支援対象者を除く）】 定員：20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開所日数	22	22	22	23	23	22		
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	13	13	13	14	13	12		
1日当たりの利用者数	12.3	11.8	11.5	13.3	12.2	11.2		
延べ人数	271	260	264	305	280	246		
実績利用率(%)	94.8	90.9	88.3	94.7	93.6	93.2		
定員に対する利用率(%)	61.6	59.1	57.4	66.3	60.9	55.9		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開所日数	23	22	23	22	20	23	267	
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	12	10	10	12	13	13	148	
1日あたりの利用者数	10.0	9.2	8.4	11.2	10.9	11.7	11.2	
延べ人数	231	203	185	246	218	269	2978	
実績利用率(%)	83.7	92.3	84.1	93.2	83.8	90.0	90.2	
定員に対する利用率(%)	50.2	46.1	42.0	55.9	54.5	58.5	55.7	

【就労者数と入退所者数】 ※就労アセスメント対象者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
就労者	0	1	0	0	1	1		
新規契約者	6	1	1	1	0	0		
退所者	0	2	0	1	1	0		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
就労者	1	1	0	0	1	0	6	
新規契約者	0	0	0	3	1	1	14	
退所者	2	0	1	0	1	0	8	

(イ) 福祉施設実習受入れ

新卒者【養護学校、高等専修学校、定時制、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
生蘭高等専修学校	8	2	2	2
座間養護学校	2	2	2	2
伊勢原高等学校 (インクルーシブ)	2	2	2	2
平塚養護学校	1	1	1	1
湘南養護学校	1	1	1	1
厚木清南高等学校 (通信制)	1	1	1	1
伊勢原養護学校	1	0	0	0
瀬谷養護学校 (大和東分教室)	1	0	0	0
相模原養護学校	1	0	0	0
9校	18名	9名	9名	新規9名

50%

既卒者【支援センター等、相談事業所、病院、行政、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
座間市基幹相談支援センター (座間市)	2	2	2	2
結夢+ (海老名市)	2	1	1	1
結夢 (海老名市)	1	1	1	1
秦野精華園せいか (座間市)	1	1	1	1
すてっぷ (相模原市)	1	1	1	1
ハートラインあゆみ (厚木市)	1	1	1	1
愛名やまゆり (愛川町)	1	1	1	1
ばれっと・はだの (秦野市)	1	0	0	0
びーな`S (海老名市)	1	0	0	0
ハローワーク厚木 (厚木市)	1	0	0	0
10団体	12名	8名	8名	中途8名

※ () 内は対象者援護地

67%

(ウ) 生産活動

【下請け作業】

主な作業内容	場所
コットンテープ、ラベルの封入、封緘 他	藤沢市
割りばしの封入	藤沢市
コネクタへの配線セット 他	厚木市
箱折り、シール貼り 他	厚木市
カレンダーの封入、封緘 他	海老名市
広告の帳合作業 他	座間市
芳香剤スティックのセット	平塚市

(エ) 工賃

月平均額 1,610 円 (平均月合計÷12 ヶ月)

月 (支払人数)	4 (13名)	5 (13名)	6 (13名)	7 (14名)	8 (13名)	9 (12名)
最高支払額 (円)	2,150	1,790	1,600	2,220	1,050	6,370
最低支払額 (円)	460	160	190	280	330	840
1人あたり平均支払額 (円)	1,346	1,226	1,193	1,455	662	2,653
月 (支払人数)	10 (12名)	11 (10名)	12 (10名)	1 (12名)	2 (12名)	3 (12名)
最高支払額 (円)	4,470	4,210	4,540	3,480	1,940	4,650
最低支払額 (円)	200	590	260	630	220	1,150
1人あたり平均支払額 (円)	1,686	2,368	808	2,522	1,110	2,300

※3月分は令和5年4月に支給する。

(オ) 職場体験実習

実習月	日数	性別 (年代・障害種別)	作業内容
7	9	男性 20代・知的/精神	食器洗浄、他
8	10	女性 10代・知的	展示室での生体とのふれ合い作業及びバックヤード清掃
8	7	男性 10代・知的	緩衝材袋詰め 緩衝材整理
8	1	男性 20代・知的	野菜の袋詰め
9	5	男性 10代・知的	部品の組み立て
9	5	男性 20代・知的	キャンパス生地の貼り付け
9	7	男性 10代・知的	シュート下作業
12	7	女性 30代・精神	プラスチック製品（端子）の検査、電子部品の電気導通検査
1	10	男性 20代・知的	ピッキング作業
3	5	男性 10代・知的	ラーメン材料下準備、食器洗い、清掃等
3	10	男性 10代・知的	空バケットの整理 等

延べ 11件

(カ) 就労実績

採用年月日	性別 (年代・障害種別)	産業分類	作業内容
5/1	女性 10代・知的	食堂・レストラン	洗い場やフロア清掃・仕込み作業他
8/1	男性 20代 知的/精神	食料・飲料卸売業	倉庫内ピッキング・商品整理
9/1	男性 10代・知的	製造業・梱包材	緩衝材生産 検品 梱包作業
10/1	女性 10代・知的	小売業	ペットの世話 ペット用品販売
11/1	男性 10代・知的	冷蔵倉庫業	シュート（食品仕分け）作業
2/13	男性 20代・知的	工場内物流	倉庫内の文具類ピッキング他

【その他】就労を祝う会 開催場所：作業室

実施日	対象者性別・年代・障害種別	参加者
4/27	女性 10代・知的	利用者 12名 職員 9名
7/28	男性 20代・知的、精神	利用者 13名 職員 8名
8/31	男性 10代・知的	利用者 12名 職員 6名
10/7	女性 10代・知的	利用者 11名 職員 7名
10/28	男性 10代・知的	利用者 10名 職員 8名
2/10	男性 20代・知的	利用者 11名 職員 7名

(キ) 就労定着支援

【概要】

〈定員〉 40名以下
 〈利用契約人数〉 34名
 〈利用者の性別〉 男性23名 女性11名
 〈利用者の平均年齢〉 24.6歳
 〈障害者手帳種別〉 療育手帳 (A2) 2名 (B1) 6名 (B2) 24名
 ※重複あり 精神障害者保健福祉手帳 (2級) 1名 (3級) 1名
 身体障害者手帳 (1級) 1名 (4級) 1名
 〈活動内容〉 面談、会社訪問
 〈職員数〉 常勤 4名 (正規職員 3名、非常勤職員 1名)

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録利用人数	27	27	28	28	26	29
利用人数	27	27	28	28	25	26
利用回数(延べ)	30	26	33	30	25	27
平均利用回数	1.1	1.0	1.2	1.1	1.0	1.0
実利用率(%)	111	96	118	107	96	93

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録利用人数	29	29	28	28	27	27	333
利用人数	29	29	28	28	26	27	328
利用回数(延べ)	33	29	29	28	28	27	345
平均利用回数	1.1	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0
実利用率(%)	114	100	104	100	104	100	104

(ク) 余暇活動

【外出】 4回/年

実施日	目的地	参加者	移動
5/31	春の水族館&江ノ島を楽しもう	利用者 13名 職員 4名 高校生(利用体験実習) 1名	電車
9/28	YOKOHAMAを楽しもう	利用者 10名 職員 3名 大学生(相談援助実習) 1名	電車
11/25	秋の大山♪ 紅葉とマイナスイオンでリフレッシュ!	利用者 7名 職員 3名	電車 バス
2/2	東京スカイツリー & 浅草 新春スペシャルツアー	利用者 11名 職員 3名 大学生(相談援助実習) 1名	電車

【旅行】 1回/年（希望者）

実施日	目的地	参加者	移動
6/28～6/29	伊豆下田・蓮台寺温泉の旅 静岡県	利用者 5名 職員 2名	レンタカー
10/5～10/6	ディズニーハロウィーンを楽しもう 千葉県	利用者 6名 職員 2名	電車 バス
12/1～12/2	仙台の美味しいものを食べつくそう！ 宮城県	利用者 4名 職員 1名	電車 レンタカー
12/13～ 12/14	リベンジ 沖縄の旅 沖縄県	利用者 6名 職員 2名	飛行機 レンタカー
1/11～1/12	USJ&大阪観光をして楽しもう 大阪府	利用者 7名 職員 3名	電車

(ケ) 地震防災対策

〈委員会実施日〉

第1回 令和4年 6月16日(木)

第2回 令和4年 11月18日(金)

〈防災訓練実施日〉

第1回 令和4年 6月23日(木)

第2回 令和4年 11月22日(火) 起震車体験

第1回地震防災訓練では、事業所内で地震が起きたことを想定し、避難経路の確認と防災用品の点検、避難場所である厚木中学校まで実際に歩き、場所を確認しました。

第2回地震防災訓練では、厚木市役所の方をお招きし、JUNCTION厚木にて起震車体験を行いました。複数回起震車体験をしたこともある利用者もあり、アトラクション感覚で乗車してしまった方もいたため、自分の命を守る大切さを伝えながら緊張感を持って訓練に臨めるよう働きかけをしていきたいと思っております。

(コ) 研修

【所内職員研修】

実施日	内容	参加者
5/13	課題共有カンファレンス2022 (NPO法人全国就労移行支援事業所連絡協議会)	職員 3名
5/25	人事・労務担当者研修（基礎編） (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員 1名
5/25～6/8	令和4年度 接遇マナー研修 振り返り研修 受講方法：動画配信 (神奈川県社会福祉協議会福祉研修センター)	職員 2名
5/26	コミュニケーション研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員 2名
6/22	令和4年度 チームリーダーキャリアパス対応生涯研修課程 (神奈川県社会福祉協議会福祉研修センター)	職員 1名
9/15	第1回 令和4年度虐待防止のための職員研修	職員 8名 実習生 1名
10/13 10/19	令和4年度 管理職員キャリアパス対応生涯研修 (神奈川県社会福祉協議会)	職員 1名
10/17 10/24 10/25	令和4年度 就業支援基礎研修 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部)	職員 1名
11/2	令和4年度 企業と語ろう in えびな (津久井養護学校)	職員 3名
11/26	中井やまゆり園報告会 (神奈川県障害サービス課)	職員 2名
2/16	第2回 令和4年度虐待防止のための職員研修	職員 8名
2/28 3/8	令和4年度 ファシリテーション研修 (神奈川県社会福祉協議会)	職員 1名

② 就労支援に関する人材育成事業

(ア) 研修会等開催事業 「イズム@JCT」

目的：

1. 「就労支援、地域支援の在り方について考える」
2. 「実のある連係と連動を生み出すための、人的つながりを創出する」
3. 「次世代を担う若年層支援者の活動を促進する」
4. 「その他、構成員が必要と感じることを実行する」

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期を検討してきましたが『イズム@JCT』は未実施となりました。次年度5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するため、積極的に開催が出来る様、準備を整えていきたいと思っております。

(イ) 社会福祉士養成

目的：

1. 社会福祉士養成における相談援助実習生を受け入れ、育成する。
2. 相談援助実習に関わる意義を理解し、関連知識やソーシャルワークの専門性を高めていく。

受け入れ期間	学年
9/7～10/21 (182時間)	日本社会事業大学 3年生
2/1～2/13 (62時間)	日本社会事業大学 2年生
2/22～3/31 (182時間)	東京福祉大学 3年生